

## 7 母 子 保 健

鶴岡市の0～14歳人口(年少人口)は令和2年3月31日現在13,812人で総人口に占める割合は11.1%であり、出生数は減少傾向が進んでいます。

少子化に加え、乳幼児をとりまく環境は、女性の職場進出、核家族の増加、価値観の多様化など時代と共に大きく変化しており、更には乳幼児虐待など社会的にも問題が大きくなっており子どもを健やかに育む環境整備が必要となっています。

母子保健法に基づき、母性の健康増進とすべての子どもが健やかに生まれ尊重かつ保護され、健全な成長発達と健康増進を図るために、次の施策を行います。

### (1) 乳幼児健康診査・健康教育事業 (令和2年度予算額11,011千円)

#### ① 健康診査事業

乳幼児の健康増進を図るために、健康診査を実施しています。

健診では、我が子を客観的に観察することができるよう援助し母親の育児不安軽減と育児交流の場としても位置付けています。

・乳幼児健康診査実施状況(令和元年度)

月 齢	受診児 総数(人)	受診率 (%)	指導区分別実人員(人)				
			問題なし	要指導	要観察	要精密 検査	要治療・ 治療中
4か月児	700	99.0	514	11	41	39	95
7か月児	706	98.9	563	9	54	7	73
1歳6か月児	753	98.8	514	31	96	31	81
3歳児	869	99.1	418	41	160	172	78

※虐待未然防止の観点から未受診者への受診勧奨を強化しています。

※3歳児健診では、尿・視力・聴力検査が加わるため、要精密健康診査が高率となっています。

※1歳6か月児健診、3歳児健診では精密健康診査料を助成しています。

#### ② 保健指導事業

子どもの成長、発達、栄養、育児への不安等子育て全般について、相談や保健指導を行っています。

・乳幼児健康相談実施状況の推移

	29年度		30年度		元年度	
	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
定期育児相談	546	3,958	548	3,899	610	5,211
不定期育児相談	-	1,099	-	834	-	467
電話相談(件)	2,368		2,488		2,317	

※定期育児相談は各コミュニティセンターや地域庁舎で定期的実施しています。(健康すこやか相談窓口も含む)

## ③ 地域組織育成事業

母親同士の交流と、子ども達の遊びの「3つの間」(空間・仲間・時間)づくりを、また地区によっては異世代との交流と場づくりを目的に、学区・地域単位に子育てサークルの自主活動の支援を行っています。サークル活動は、コミュニティセンターや地域公民館等を会場に定期開催され、育児相談も同時開催となっています。

・子育てサークルと育児相談会(令和2年度)

場 所	サークル名	日 時	育児相談日時	
第一コミセン	キラキラ星	第2または3金曜日午前	第2または第3金曜日午前	
第二コミセン	ヨチヨチ探検隊	第1月曜日 午前	第2または第3月曜日午前	
第三コミセン	チロリン村	偶数月第3火曜日午前	第3火曜日 午前	
第四コミセン	おもちゃ箱	火曜日 午前	第3火曜日 午前	
第五コミセン	てるてるぼうず	第1・3月曜日 午前	第3月曜日 午前	
第六コミセン	コアラのマーチ	概ね第1木曜日 午前	第1木曜日 午前	
斎コミセン	のびのびクラブ	第2金曜日 午前	第2金曜日 午前	
黄金コミセン	なかよしランド	第2木曜日 午前	第2木曜日 午前	
湯田川コミセン	-	-	月1回 木曜日 午前	
農村センター(大泉)	ミッキーのおうち	第3水曜日 午前	第3水曜日 午前	
京田コミセン	ひよっこ広場	概ね第3木曜日 午前	概ね第3木曜日 午前	
栄子育て支援室 なかよしルーム	-	月・水・金	第3金曜日 午前	
田川コミセン	-	-	月1回 火曜日 午前	
上郷コミセン	未来っ子クラブ	第3水曜日 午前	第3水曜日 午前	
三瀬コミセン	わいわいクラブ	月2回火曜日午前	第4火曜日 午前	
由良コミセン	はまっ子広場	第1・3火曜日 午前	第1火曜日 午前	
小堅コミセン	-	-	第3木曜日 午前	
加茂コミセン	-	-	奇数月概ね第2月曜日 午前	
湯野浜コスパ	ちんちん電車	概ね第2木曜日 午前	概ね第2木曜日 午前	
大山コミセン・大山児童館	大山よい子 ワイワイルーム	第1・3水曜日 午前	第1水曜日 午前	
農林活性化センター(西郷)	つみきクラブ	第2・4水曜日 午前	第4水曜日 午前	
藤島地域	ふれあいセンター	藤島あいあい	月・火・木・金曜日午前	第1火曜日 午前
	藤島子育て支援センター	児童館あいあい	1~3月・水曜日午前	-
	東栄地区地域活動センター	サークルがやがや	不定期	-
	八栄島地区地域活動センター	八栄島あいあい	4~12月水曜日午前	-
	長沼地区地域活動センター	サークルがやがや	不定期	-
	渡前地区地域活動センター	サークルがやがや	不定期	-

場 所		サークル名	日 時	育児相談日時
羽黒地域	手向地区地域活動センター	はぐろっこ広場	第2・4火曜日 午前	-
	羽黒コミュニティセンター		第2・4金曜日 午前	-
	羽黒子育て支援センター (貴船保育園内)	-	-	概ね第4月曜日 午前
櫛引すこやかセンター (櫛引地域)		あそぼう会	金曜日 午前	奇数月第2木曜日 午前
健康の里 ふくら (朝日地域)		びよびよ広場 (1歳未満)	9月まで第2火曜日午前 10月から第3木曜日午前	9月まで第2火曜日午前 10月から第3木曜日午前
		あそびの会 (1歳以上)	木曜日午前	-
あつみ子育て支援センター (温海地域)		-	-	奇数月第3水曜日午前

#### ④ 健康教育事業

子どもの成長・発達や育児について、個別的・集団的に指導助言を行い、地域の普及を図っています。

##### (ア) 食育指導と育児教室実施状況

離乳食指導は、4か月児、7か月児の各健診時に実施しています。

ベビーキッチン、9～11か月児を対象にした離乳食の調理実習・試食を含む食育教室です。

		29年度		30年度		元年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
食 育	離乳食指導	48	1,561	48	1,539	48	1,406
	ベビーキッチン	4	58	4	82	4	104
	食育教室	7	239	9	182	5	164
育児教室	育児サークル支援	108	425	83	408	76	424
	子育て支援	54	1,149	48	737	73	548

##### (イ) 思春期教育（赤ちゃんふれあい事業・思春期ふれあい講座等）

思春期における心と体の変化を知り、豊かな人間性と社会性を持ち正しい知識と行動により将来待ち望んだ妊娠が迎えられるように講義と実技体験（赤ちゃん抱っこ・妊婦体験）等を、他機関との連携を図りながら行っています。

令和元年度実績 5回、130人

##### (ウ) 歯科健康教育実施状況

対 象	事 業 名	29年度		30年度		元年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
乳児の保護者	7か月児健診	24	789	24	763	24	706
幼児及び 保護者	1歳6か月児健診 3歳児健診	72	1,772	72	1,684	72	1,622
	育児サークル等	10	156	10	115	8	128

## ⑤ 健康支援事業

先天的な障がいや発達障がい等の障がい受容と育児を支援し、適切な療育環境の整備を図り、また一貫した療育支援のため、医療・保健・福祉の連携を図っていきます。

### (ア) 言語発達相談（おやこ教室）

乳幼児健診や相談において、ことばの発達やコミュニケーションに課題のある幼児とその家族、育児不安のある母とその子ども等を対象に実施しています。

29年度		30年度		元年度	
回数	人数	回数	人数	回数	人数
8	実 40 延 49	8	実 36 延 50	8	実 41 延 51

### (イ) 元気キッズ教室

幼児肥満の増加から生活習慣病の予防を強化します。1歳6か月児、3歳児健診で発見された肥満や低身長幼児を対象に専門医師による健診や生活習慣病の予防に向け継続的に支援しています。

		29年度	30年度	元年度
回数		4	4	4
人数	肥満児	実 22 延 25	実 27 延 33	実 21 延 28
	低身長	実 23 延 32	実 9 延 10	実 9 延 12

## ⑥ 療育指導事業

障害児の適正療育を図るために、大山地区・温海地域親の会活動を拠点に療育経験交流と情報交換及び収集などを行いながら、親の会活動を育成しています。

(令和元年度)

- ・つくしんぼの会(知的障害児親の会) 開催状況<大山地区>

開催回数	人数	内容
1	10	ミュージックセラピー

- ・かたつむりの会(療育訓練を必要とする児の親の会) 開催状況<温海地域>

開催回数	人数	内容
2	延 15	情報交換、研修会

## ⑦ 連携推進事業

子育て・療育支援について、保健、福祉、教育等が連携し開催しています。

- ・子育て支援連絡協議会（櫛引地域）

開催回数	参集者、担当者	内容
年 2 回	保育所（園長）、子育て支援センター（職員） 行政職員（市民福祉課長、児童福祉、保健師、学校教育課指導主事）	情報交換 ケース会議

## ・子育て支援センター連絡会議（朝日地域）

開催回数	参集者、担当者	内 容
年 3 回	保育所（園長）、子育て支援センター（職員） 行政職員（保健師）	情報交換 ケース会議

## ・保小連絡協議会（朝日地域）

開催回数	参集者、担当者	内 容
年 2 回	保育所（園長、担任保育士等）、小学校 行政職員（市民福祉課長、保健師、学校教育課指導主 事、教育相談員）	情報交換 ケース会議

## (2) 妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業

（令和 2 年度予算額 82,597 千円）

妊娠期を健やかに過ごし安心して出産に臨めるようにするために、妊婦に対する健康診査を医療機関に委託実施し、妊娠中の健康管理や経済的負担の軽減を図っています。

また、平成 30 年 6 月 1 日に、健康課と子ども家庭支援センターに「子育て世代包括支援センター」を開設しました。健康課では特に妊娠・出産・産後を、子ども家庭支援センターでは子育て期を担当し、連携して切れ目なく支援を行います。

## ① 健康診査事業

## ・妊婦健康診査受診者数（令和元年度）

受診者実人員		受診者実人員		受診者実人員		受診者実人員	
1 回目	709	2 回目	699	3 回目	714	4 回目	732
5 回目	716	6 回目	744	7 回目	713	8 回目	682
9 回目	665	10 回目	645	11 回目	608	12 回目	546
13 回目	398	14 回目	314				
超音波 1 回目	712	超音波 2 回目	736	超音波 3 回目	723	超音波 4 回目	655
子宮頸がん	681	クラミジア	748	HTLV-1	728		

※平成 21 年度より初回 10,000 円、2 回目以降 5,000 円を上限として助成。

※平成 28 年度より、超音波検査初回 5,300 円、2～4 回目 4,770 円を上限として助成。

## ・妊婦健康診査結果状況（令和元年度）

	受診者 実数	指導区分別実人数				異常のある者（疑）			HBs 抗原 陽性者 数	HCV 抗体 陽性者数
		異常 なし	要経過 観察	要精密 検査	要治療	高血圧・ たん白 尿	貧血	高血糖		
1回目	709	528	122	21	38	9	57	43	1	0
4回目(20週頃)	732	432	271	1	28	3	4	0		
8回目(30週頃)	682	332	220	0	130	0	63	0		
12回目(37週頃)	546	257	247	0	42	1	25	0		
子宮頸がん	681	650	7	22	2					
クラミジア	748	737	1	0	10					
HTLV-1	728	720	4	4	0					
超音波	1回目	712	704	5	0	3				
	3回目	723	648	48	1	26				

（注）償還払いによる受診は含まない。（償還払い 24 件）

（注）高血圧は最高血圧 150 mm Hg、最低血圧 90 mm Hg 以上、たん白尿は＋以上、貧血はヘモグロビン濃度 11g/dℓ未満。

## ② 母子保健相談支援事業

## (ア) 母子健康手帳交付

母子健康手帳は、妊産婦と乳幼児の健康管理と健康診査の結果や発育の記録のために必要な項目を記録するものです。外国人の妊婦に対し、外国語版も準備しています。

	交付数	日本語版	ハングル版	英語版	中国語版	その他
29年度	761	760	0	1	0	0
30年度	713	709	0	4	0	0
元年度	705	702	0	1	1	1

※日本語版も一緒に交付。その他はインドネシア語

## (イ) 母子保健コーディネーター活動実施状況

妊娠・出産・育児について、相談・助言を行っています。

	相談	訪問・面談	電話	他機関との連携・調整
29年度	813人	実53人 延124人	200回	416回
30年度	774人	実49人 延74人	308回	323回
元年度	716人	実47人 延107人	274回	277回

## (ウ) 妊産婦サポート事業

支援が必要な妊婦に、妊娠期から家庭訪問や面談で保健指導を実施することにより、母性・父性や子どもへの愛着形成を育み、妊娠・出産・子育てへの不安軽減を図ります。

	実人数	訪問・面談(延)	電話での支援
29年度	23人	80回	実1人、延1回
30年度	22人	75回	実14人、延29回
元年度	21人	71回	実17人、延28回

※平成26年度より実施、29年度拡充。

## (エ) 産後母子ケア事業「ほっとママルーム」

支援が必要な産婦に、産科医療機関等において、心身のケアと情緒的サポート及び育児支援とともに、乳児のケアを行なうことにより、負担軽減と不安の解消を図ります。

	日帰り型		宿泊型	
	実	延	実	延
29年度	7人	15人		
30年度	7人	19人	1人	5人
元年度	1人	1人	4人	6人

## (オ) プレママ教室(令和元年度)

妊娠、出産、子育てに関する悩みに対して、専門職である保健師、助産師等が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行ない、孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし、出産、育児に臨むことができるよう支援します。

回数	参加妊婦	参加総数	要支援者
11	54	149	6

※平成30年6月より実施。

## (カ) 母乳・ミルク相談(令和元年度)

産婦の子育ての悩みに対して相談支援を行い、母乳栄養を推進し、乳児が健やかに成長発育できるよう支援するとともに、産婦の子育て不安の軽減を図ります。

	実数	延数
定期相談	41人	57人
随時相談(電話含む)	27人	36人

※平成30年6月より実施。

### ③ 訪問指導事業

育児経験の不足からくる育児不安の解消と、生命誕生の喜びを確認し、親の育児に対する役割や責任について理解を深めてもらうために、全乳児に訪問指導を行っています。

また、若年、未婚、高齢初産婦などハイリスク妊婦に対しては、妊娠中にも訪問指導を行っています。

	乳児		低出生体重児		幼児		妊産婦		その他	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
29年度	827	960	30	34	110	145	883	1,145	58	106
30年度	769	873	37	40	80	103	775	917	43	60
元年度	738	823	26	32	59	86	759	848	35	57

### ④ すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員会

(ア) 設置目的

核家族化、少子化の進展、女性の社会進出などの社会構造が変化するなかで、子育てに不安をもつ母親が増え、身近に相談する人がいないなど新しい時代の子育てが問題となっています。すこやかな子どもを生み育てるために関係者が情報を交換しながら連携を密にし、効果的な母子保健活動を推進していきます。

(イ) 設立年月日 平成6年2月16日

(ウ) 令和元年度活動目標「みんなで支える親子の笑顔と育ちあい♡」

(エ) 活動状況（令和元年度）

○子育て講演会 令和元年11月16日(土) 参加者135人

演 題 “ボク・アタシってすごい”と思える子を育てる  
～親子で自己肯定感をはぐくむかわり～

講 師 岩倉 政城 氏 (尚絅学院大学名誉教授・歯学博士)

○円卓会議 令和2年2月25日

テーマ 「働きながら父母ともに、すこやかに子育てしていくために」

○すこやか出前子育て懇談会

・令和元年12月4日 参加者45人

加茂水産高校3年

・令和2年1月21日 参加者38人

赤ちゃん広場参加の乳児と母

○すこやかネット通信「親ガメ・子ガメ」

・53号：令和元年10月発行 54号：令和2年3月発行

○推進委員会 年3回

○専門部活動

・研修部 円卓会議、子育て講演会の企画、実施



- ・ 推進部 すこやか出前子育て懇談会の実施
- ・ 編集部 すこやかネット通信を2回編集・発行、活動のPR媒体作成

(オ) 委員体制 19人

委員区分

- ①保健所等行政機関の代表者…… 4人  
(庄内保健所、庄内児童相談所、小学校・中学校各養護教諭部会)
- ②小児科・産婦人科等関係医師… 2人
- ③地域関係団体代表者…………… 2人  
(市立保育園保護者会連絡協議会)
- ④学識経験者…………… 3人
- ⑤市関係課職員…………… 8人  
(子ども家庭支援センター、社会教育課、学校教育課、女性センター、学校給食センター、庄内病院小児科・産婦人科)

### (3) 特定不妊治療費助成事業

(令和2年度予算額 13,702千円)

特定不妊治療(体外受精及び顕微授精による治療法)を受ける夫婦に対して、山形県特定不妊治療費助成事業に上乗せをして、費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図っています。

	29年度	30年度	元年度
助成組数	実 65 延 101	実 72 延 106	実 73 延 123